

413
697
5

制度通考之五目錄

- 一 服章之考
- 一 印章之考
- 一 俸祿之考
- 一 符牌勘合之考
- 一 僧尼度牒之考

計五條

中川鶴阜家藏

伊藤長胤輯

天正十五年二月
花房仙文郎寄贈

制度通考之五

伊藤長胤輯

△服章之五

○衣裳冠冕ノ設ハ。貴賤ノ品ヲ分テ人ノ物ニ異。立
ニナリ。故ニ古ヨリ。聖王此ヲ重ス易ノ系辭ニ云。
黃帝堯舜垂衣裳而天下治。蓋取諸乾
ト。右來傳フトコロカクコトニ。ソノ經ニ見ルハ書經
益稷篇云。予觀古人之象日月星辰山
龍華虫作會。宗彝藻火粉米黼黻絺
繡スト云。コレヲ十二章ト云。孔安國書經ノ註鄭

玄周礼ノ註ト少シ異同アリ。鄭氏ノ注ニ日月
 以下ノ六章ヲ衣ニ繪キ。藻火以下ノ六章ヲ裳
 ニ繡ス。日月星辰ヲ画クハソノ照臨ヲトル。山ハソノ
 鎮ムルヲトル。龍ハソノ變スルヲトル。華虫トハ雉ノ
 ソノ文ヲトル。宗彝トハ尊ノ名ナリ。其文ニ虎。雌
 ヲ畫。ソノ孝ヲトル。三云虎ハソノ猛キヲトリ。雌ハソノ
 孝ヲトル。雌ハ猿ノ多クヒニテ尾長ニソノ親ニ孝
 ナルヲ甲ト云リ。藻ハ水艸ソノ潔キヲトル。火ハソノ
 明ナルヲトル。黼ハ斧形トシソノ断ヲトル。黻ハ
 又帶ニモ作。吾文字ノ日ノウラアワセニ並ヘテ

書ス。此ヲ兩已相ソムト云コト。私ナキ義ナリ。是ヲ
 合セテ十五章ナリ。

虞 兕 天 子 二十 章

- | | |
|--------|----|
| 日月 | 星辰 |
| 山龍 | 華虫 |
| 右六章在衣。 | |
| 宗彝 | 藻火 |
| 粉米 | 黼黻 |
| 右六章在裳。 | |

鄭氏説用礼司服ニヨル。天子八十二章以下。

公ハ衮冕九章ニテ龍ヨリ以下ヲトル。龍ノ首
袞然トカリタルニヨリテ此ヲ衮龍ト云。侯伯ハ
鷩冕七立卑ニテ。葦中ヨリ以下ヲトル。葦中
ヲ鷩ト云。雉ノナリ。故ニコレヲ鷩冕ト云。
子男ノ服。毳冕五章ニテ虎。雉以下ヲ取此
ナリ。十二章ノ宗彝ト云ハ。文ニ虎ト雉ト画タル工
ヘニ玄甲ノ毛アルヲ毛毳ト云。故ニ此ヲ毛毳冕ト云。
ノ下ニ四命ノ人ハ希冕三章三章再命ノ
人ハ玄冕一立卑一命並ニ不命ノ士ハ服章
ナク。玄衣纁裳ノニ。

○鄭玄ノ説ニハ舜ノ時ノ十二章周ノ時ニ至テ日
月星辰ノ三章ヲ改メテ。旌旗ニ畫テ。龍ヲ山
ニ登ニテ。龍以下九章ナリ。後世天子ノ御衣
ヲ衮龍ノ服ト云。コレヨリ出ルナルヘシ。ニカレ周礼
司服公之服自衮冕已下如侯之服ト云。此
説ノ如シハ。天子モ上公モトモニ衮冕九章ニテ
尊卑ノ差別ナシ。林氏ステニ之ヲ弁ス。文献通
考ニ詳カナリ。

三代

衮冕

九章

公

服制冕冠

鷩冕	七章	侯伯
毳冕	五章	子男
希冕	三章	四命
玄冕	一章	三命以下

○秦取ノ服制詳カナラス。漢ノ取服色ノ差別
 々々ニルヘカラス。西漢トモ官人ノ次第ハ印綬ノ
 品ニヨリテ。貴賤ノ差別アリ。諸侯王ハ金印

綬綬ヨリ諸丞尉ハ銅印墨綬ニ至ルマテ。凡
 テ五等ナリ。綬ハ印ノ紐ナリ。綬ハモト草ノ名
 緑ノ色ヲソムルモノナリ。此制漢ヨリコノカク。南北
 朝ニテ如此。漢已來冠冕ノ制。サマクアリトイ
 ヘ。古又ニケレハコレヲ思ハス。

漢印綬五等

金印綬綬	諸侯王
金印紫綬	公侯
銀印青綬	九卿以下
銀印墨綬	尚書令以下

圖 銅印黃綬

諸丞尉

○後漢光武踐阼後。郊祀之祀ヲ修セラレテ。天子冕服ニ玉ヒ。歐陽氏ノ説ニ從フ。明帝永平中二十二年章服ノ度ヲ定メラレ。コノナリ。隋唐ノ時ニ至ルマテ古ノ章服アリ。然在祭祀禮儀ノ時ニ用ラレテ。常服ニアラス。隋文帝ノ詔ニ云。祭祀之服須合禮經ト是ナリ。ニカレハ。隋文帝ノ像ナト二十二年章服ヲ畫クハアヤリナリ。

○隋ノ文帝聽朝ノ服ニ。赭黃文綾身紗折上巾六合鞞ヲ用ラレ。唐ノ高祖ニ至リテモ。赭黃袍ヲ以テ常服トセラレ。此即イハユル黃袍ナリ。丘瓊山曰。天子服黃始於隋。後遂因之。以爲常服。此後世天子黃袍ノハシメナリ。

○隋ノ煬帝ノ時。軍旅夏ニケク。車駕行幸ニハクナルニヨリテ。袴褶ノ制便ナラス。文武百官皆戎衣ヲ服シテ貴賤ノ品ヲワケ。五品以上ハ通シテ紫袍著ス。六品以下ハ緋ト緑トヲ兼服ス。吏胥ハ青ヲ服ス。庶人ハ白ヲ服ス。屠商ハ皂名キヲ服ス。卒ハ黃ヲ服ス。此後世官服紫緋綠。瓊石ノハシメナリ。○唐ノ太宗貞觀四年ニ。詔アリテ。百官ノ服色ヲ

定メラル。三品以上ハ紫ヲ服シ。四品五品ハ緋。六品七品ハ緑。八品九品ハ青ト四段ニ定メラル。此又隋ノ制ニ因テ損益セラレナリ。高宗ノ時ニ至テ勅ニテ紫服ハ金玉帶以下ヲ定メラル。銙ノ數各差アリ。銙トハ帶ノ石ナリ。日本ニ井ケル巡方九鞞トナリ。銙ノ一沉存中。夢溪筆談ニ詳カナリ。

唐	紫	金玉帶	一品二品
服	緋	金帶	三品
色	緑	銀帶	四品五品
			六品七品

四等

碧 銅鐵帶 八品九品

○幘頭ト云ハ。唐以來公服ノカフリナリ。ソノモトハ。北朝宗文周ノ時ヨリハニアル。武帝ノ制スル冠ニテ。武夏ニ便ナルモノナリ。通考云。武帝初服常冠。以皂紗金福向後幘髮仍裁為四脚下是ナリ。唐人ノ幘頭ハハシメハタ。絨ニテ是ヲ作ル。後ソノ柔ナルヲ以テ木ヲ斫ツテ。ノ山子ヲコニラヘテ削ニオキ。軍容頭ト云。山子トハ。今イケル巾子ナリ。此ハ代宗ノ時ニ魚朝恩ト云。宦官アリテ。觀軍容使ト云。官ニナリテ。コノ

冠ヲカフムル。取人其制ヲ習フテコニラス。此ヲ軍容
頭ト云。モトハ四方角ノ二脚アリ。ニツハ前ニ高ヒ。ニツ
後ニ向フ。後ニハ兩脚ヲ横タヘ鐵線ニテ此ヲハル。
人主ハ此兩脚ヲ裏ムナリ。サテ宋ノ取ニナリ。カノ
桐ノ山子ヲカヘテ藤ニテコレヲ織リ。絨ヲハル。仁宗ノ
取代ニハシメテ深絨ニテ此ヲ作ルトコロノケ。朱子
語類ニ詳カナリ。通考ニ是ヲ引ク。畢昇見今
日本人唐冠ト覺タルモノ形ナリ。ソノ圖ニ才圖
會ニツマヒラカナリ。

○通鑑。唐昭宗紀公服入謝。胡三省註云。唐
章服之制。有朝服。公服。朝服。貝服也。公服
從省服也。唐ノ取朝服ト公服ト別アリ。笏ノ
古ハ三代ノ取分ヨリ此アリ。貴賤通ニテ此ヲ執ル。夏
アルハ此ヲ腰ニサシサム。文献通考ニ曰。笏古者貴賤
皆執。笏其有夏則摺之。腰帶。所謂摺紳之士
者。摺笏而垂紳帶也。

○周ノ時。笏ノ制。天子ハ球ト云。王ニテ是ヲ作ル。諸侯ハ
象牙ニテ是ヲ作ル。大夫ハ魚鬚。文作トヲ以テ作ル。
鮫魚鬚ヲ以テ作ラカサルナリ。士ハ竹本ヤル象可也。ト
竹ヲ本竹製ニシテ象牙ヲ以テソノ邊ヲカサルナリ。其長

サイツレモニ尺六寸ニテ。中ノハ一ニ寸ソクソクコトニ六分一ヲサルト
詳ニ。礼記ニアラハル。是ヲ笏ト名ケタル一ハ劉熙ノ釋
名ニ曰。笏忽也。君有命則書ニ其上。備忽忘心也ト。此
ナリ。

○晋宋ヨリ以來。コレヲ手板ト云。シカレモ不經ノコトナルニ
ヨツテ。唐ノ取マタ。古名ニナラヒテ。笏ト名ツクルナリ。其制
西魏ヨリコノカク。五品以上ハ通ニテ象牙ヲ用。六品
以下ハ兼テ竹本ヲ用ユ。唐ニ至リテモ。此通ニテ形ニ
少クカワリアリ。

本朝之制 有_レ礼服。有_レ朝服。有_レ制服。

本朝冠服ノ制。衣服令ニ此三等ヲクセリ。礼服ハ皇
太子以下。親王諸王諸臣。各ソク差アリ。太祀大
嘗會元日ニ之ヲ服セラレ。内親王。女王。内命婦。並
武官。各ソク別アリ。朝服トハ。朝廷ノ行夏ニ之ヲ服
スルナリ。制服トハ。宮人深緑以下ハ兼服ニ。紫色。
細キ帶等ニハ少ク用ユルヲ聽ス。其類ナリ。

○遼ノ太祖北方ヨリ興リ。太宗ニ至リテ。中國ヲ制ス。
是ニ於テ衣冠ノ制ヲ定メ。北ハ國ニ從ヒ。南ハ漢ニ
從テ。各ソク便ニ因ルト云ク。ニカレハ中國夷狄ノ凡ヲ
兼用ラレト見ヘタリ。ソク大槩祭服。朝服。公服。常

服。田獵服アリ。金ノ取大抵中國ノ古法ヲ用テ。衮冕九章等ノ制アリ。太定中ニ官制ヲ定メ。文資五品以上ハ紫ヲ服。六品七品ハ緋ヲ服ス。八品九品ハ緑ヲ服ス。一應ノ武官ハ皆紫ヲ服ス。

○元ノ國初唐夏草創冠服並ニ舊俗ニ從。世祖天下ヲ混一スルニ及テ。近ク金宋ヲ取リ。遠ク漢唐ヲ法リ。天子ノ冕服ヨリ。士庶人ノ服色ニ至ルニテ。秩然トニテ序アリ。職官ノ服龍鳳文ヲ除ク外。一品ニ品ハ渾金花ヨリ以下各差アリ。龍ハ五爪ニク用ナルモノヲ云ト云。天子ノ章ユハ二臣下ノ用

ルヲ許サラスト見ヘタリ。右ニ代ノイッレモ續文獻通考ニ見ヘタリ。元ノ取百官公服之制以羅太袖盤領俱右^ス衽一品紫大ノ独科花徑五寸。二品小独科花徑三寸。三品散荅花徑二寸。無枝葉。四品五品小雜花徑一寸五分。六品七品緋羅小襪花徑一寸。八品九品綠羅無文幘頭漆。汝為之展其角ト云。笏ハ牙或銀杏木ヲ以テ作ル。偏帶ハ一品已下。玉或花。或素系花犀黃金。五品以下ハ鳥犀イッレモ八勝ナリ。鞞ハ朱革ヲ以テ之ヲ作ル。鞞ハ皂皮ヲ以テ之ヲ作ル。イッレモ續通考ニ

詳カナリ。唐宋已來。冠服ノ三十サマクアレ也。朝服ニ推出ニテ冠トスモノハイツレモ幞頭ナリ。獨科ト云ハ科ハ窠ト通ニ用ユルナリ。

○明ノ官服ノ色ハ上下トモニ赤色ナリ。唐宋コノカタ。隋法ヨリテ紫ヲ上服トセラルレ也。明ノ取ニコレヲ改メ元丘瓊山オモエラク。論語ニ紅紫不以為褻服ト。朱子曰。紅紫ハ間色ニテ非朝祭之服。隋以來紫ヲ以テ大臣服トシテ。唐宋ヨリ以來コレヨリ明ニ至テ紫ヲサリテ用ラレスト。又馬端臨カ説ニハ漢ノ取夏侯勝カ詞ニモ取青紫如拾芥ト云リ。楊

子雲モ紆^ヒ青抱紫トアリ。シカレハ隋以前ニモ紫ヲ明服トスルアリト云リ。

○明朝。官服貴賤ノ次第ハ衣紋ニテコレヲ分ツ。是ヲ花樣ト云。公侯駙馬伯ハ麒麟^{キリン}白澤^{ハクサイ}等ノ形ヲ繡ニス。文官ハ鳥ノ形ヲ以テシ。其文采ニカタトル。武官獸ノ形ヲ以テス。ゾ猛キニカタトル。スヘテ公服ノ夏。宋朝ハ時節ニ公儀ヨリコヒラフヘテワタル。明ニテハ官人面々ニ品ヲ考テ是ヲ造ル。是等ノ古又イツレモ。行義補ニ詳カナリ。

○衣服ニ鳥獸ノ文ヲ繪クハ一書ニオモヘラク。古ハ雉

冕毳冕ノ象ヨリ出トスリ。又通典ヲ考ルニ唐ノ
武太后ノ取ニ内ヨリ繡袍ヲ出シテ文武三品以上ニ
給フソノ袍ノ文麒麟豹鷹鶴等ヲ以テカサリ
トスルト見ヘタリ。開元ノ取モ又ニカリ。又宋ノ太祖建
隆三年ニ錦袍ヲ百官ニ賜フ。雲雁獅子等ノ
カサリ七等アリ。明ノ制モ是等ヲ考合サレタト
見ヘタリ。

○太祖洪武三年ニ定メテ文武官常朝視察又六
品ハ花犀帶ト九品マテソシ差アリ。又二十六年

ニ花樣ニ定メタリ。

公侯駙馬伯

麒麟白澤

文官

一品二只。

仙鶴錦雞。

二品四只。

孔雀雲雁。

五品。

白鸞。

六品七品。

鸞鳳鸞鷟。

八品九品。

黃鸝鶴鶉練鵲。

風憲官用獬廌。

武官

一品ニロク。	獅子。
三ロク四ロク。	虎豹。
五ロク。	熊羆。
六ロク七ロク。	彪。
八ロク九ロク。	犀牛海馬。

右會典等ノ書ニ詳カナリ。

△印章ノ古又

○三代ノ取印章ノノキコエス。舜典輯五瑞ト云コトアリ。是ハ五等ノ圭璧玉ヲコシラヘテ。天子ヨリ諸侯ヘワカナク多ヘ来朝ノ取。是ヲ合テニルニトス。又符節アリ。周礼ニ詳カナリ。其後六國ノ取ニ及ニ。蘇秦佩六國印等コト見ヘタリ。杜佑通典ニ云。三代之制人臣以金玉印龍虎劍唯所好也トアリ。何ニヨリテ云クヲ詳ニセズ。

○秦ノ取印ヲ改メテ。璽ト称ニテ。王ヲ以テ是ヲ作ル。又天子ニカキリテ。天下ニ通用セス。天子ノ璽スヘ

テ六アリ。始白王マタ藍田ノ白玉ヲ得テ。璽ヲ作
ル。螭布ノ鈕ソノ文ニ云。受天之命。白皇帝。壽昌
ト。コノ璽後世マテ傳リテ。傳國璽ト云。右又通
典ニ詳カナリ。

皇帝行璽

皇帝之璽

皇帝信璽

天子行璽

天子信璽

天子之璽

秦 六 璽

○漢高祖関中ニ至リテ。秦ノ始白王ノ璽ヲ得テ
傳國璽トス。又斬蛇劍ニラセテ。俱ニ傳國ノ

宝トス。是ヨリ後世ニ至リテ。世々傳來セリ。斬蛇
劍ハ。晋ノ惠帝ノ取。楊駿カ乱ニ孔子履王
莽カ首任ニ燒失スト。史ニ見ヘタリ。傳國璽ハソノ
傳來諸書ニ具ナリ。漢ヨリコノカタ。世々ニ傳リテ
晋ノ取。胡ノ乱ニ趙ノ刘聰。晋ノ懷帝ヲ執ヘ。璽
モ奪去レリ。其後石勒カ手ニ入。コノ後東
晋ノ世ニハ。天子ニ璽十キニヨリテ。北方ノ人司馬
家白板。天子ト云リ。穆帝ノ世ニ石虎死ニテ
胡ニタム。ソノ璽江南ニカヘル。是ヨリ宋齊梁
ヲヘテ。武帝ノ時。侯景カ乱ニ。コノ璽北齊ニ歸

ス。ソレヨリ隋唐ヲ経テ。五代唐ノ時ニホロボ。

○臣下ニ印ヲ賜フコト。夏物紀原ニ。高鞅書ヲ引テ有司之賜印自秦孝公之變法始爾ト云リ。是ヨリ先ニ魯曾ノ君子エ見ニ大將軍ノ印ヲ授ルコト。淮南子人間訓ノ篇ニ出ツ。徐官ノ印史ニ吾子行カ説ヲ奉テ云。刘安カ寓言ト云。ゴトニゴトハリナリ。漢ヨリコノカタ定リテ官爵ノ次第ニ隨テ印章ノ制度其法マナクナリ。

○漢昏百官表ヲ按スルニ印ニ金銀銅ノ差別アリテ。綬ノ色モ同ニカラズ。

漢印四章等圖

- 金印紫綬 相国 大尉 丞相
- 銀印青綬 御史大夫等至吏
- 銅印墨綬 秩比二千石以上
- 銅印赤綬

○後漢ノ制。又前漢ノ法ニヨレリ。綬ハモト古ヘ佩玉ノ制ナリ。周ノ末ヨリ世戦争ニ起テ佩鞞ノ類。武備ニアラサルヲ以テ。スダレテ用ヒス。秦ニイタリテ。采組ヲ以テ。璪ニ結ヒ。是ヲ綬ト云。漢秦ノ法ヲ承テ。是

ヲ用ヒ。是ニ刃印佩カノ飾ヲ加ヘ。遂ニ印綬名オ
コル。ソノ夏後漢肩輿服志ニ詳カナリ。

○南齊ノ取梁陳ニテ垂輿ニ六圭ヲ削ス。金ヲ
以テ是ヲ作り。並ニ秦漢ノ制ニヨル。北齊ノ取ニ天
子ノ六圭ヲ削セラル。ソノ文秦ノ六圭ニヨル。何モ方
一寸二分螭虎鈕又傳國圭ト云モノアリ。白玉ニ
テコニラヘ。四寸四方アリ。螭獸鈕ニテ上ニ交蟠螭
アリ。ソノ文受天之命。皇帝壽昌ト云。八字ヲ隱
起。鳥篆書スト云リ。是ハ鳥迹篆ノ古文字ヲ
キアケニホルコトナリ。六圭ノ外ニアリ。此外ニ又督撰

萬機印。コノ四字鳥篆書ニ隱起ス。長尺二寸五分。
籍綬ニ押ス印ナリ。帳トナ目ニ用ユナリ。後関
防ノ印是ニ本ツク。

○北周ノ取ニ八圭アリ。神圭ハ天ニ受ルコトヲ明シ。
傳國圭ハ運ニ受ルコトヲ明ス。此ニツハ宝トニテ用ヒ
ス。皇帝^篆負トキハ。神圭ヲ右ニ置道キ。傳國
圭ヲ左ニ置ク。ソノ餘六圭ハ並ニ削ニヨル。イツレモ
白玉ヲ是ヲ作ル。一寸五分四方ニシテ。高サ一寸ナリ。
三公諸侯ノ印ハ。方一寸二分。高サ八分。其下ハ。方
一寸。高サ八分。各其差アリ。隋ノ取。神圭六宝

トニテ用ヒス。傳、玉璽ハハ封禪ニコレヲ用ユ。餘ノ六
玉ハ並ニ前代ノ制ニミダカフテカケルヲナシ。

○唐ノ太宗貞觀十六年ニ受命、玄宗玉ヲ作ル。白玉
ヲ以テコシラヘ。螭首ニス。其文ハ皇帝景命有德
者昌ト云ハ字ナリ。則天皇后ノ取ニ玉璽ヲ改テ
符宝トス。玄宗ノ天宝十載ニ傳、因玉ヲ改テ承天
大宝ト云。スヘテ天子之宝ハアリ。後世ニ天子ノ印
ヲ宝ト云コト是ニハミナル。此外ニ八宝アリ。

唐 一曰神寶

以鎮中國藏而不
用 通考作璽下同

八

二曰受命寶

以封禪礼神

三曰皇帝行寶

以報王公書

四曰皇帝之寶

以勞王公

寶

五曰皇帝信寶

以召王公

六曰天子行寶

以報四夷之君

圖

七曰天子之寶

以勞四夷

八曰天子信寶

以兵四夷

右ノ復。通典通考共ニアリ。通典ニハ八宝トアリ。通
考ニハ八玉トアリ。各ソレ々ノ取代ノ名ニ因ナリ。

本朝之制 有内印有外印有諸司印有諸國印。

本朝印章ノ制。公式令ニ詳カナリ。令ニ天子神璽ト
上テ。註ニ曰。謂踐阼之日壽司璽。宝而不用ト。ソノ
下内印外印諸司印諸国印。イツレモ詳カニ其
制度ヲ示ス。内印トハ御印ナリ。今俗御證印
ト云フ。文天皇之璽ト云四字ナリ。五位以上ノ位
記並ニ諸国ニ下ス公文ニ之ヲ印ス。外印公官ノ
印ナリ。ソノ文大政官印ト云。方ニ寸半。六位已下ノ
位記並ニ大政官ノ文案ニハ之ヲ印ス。諸司ノ印
アリ。此ハ省臺寮司等官人ヨリ上ル公文並ニ
案移牒ニ之ヲ印ス。案移牒ト云ハ。文書目ノ名

ナリ。諸国印アリ。此ハ京へ上ル公文並ニ案調物ニ
之ヲ印ス。イツレモ令ヲ考フベシ。

本朝印章制圖

内印 方三寸。外印方二寸半。

諸司印 方二寸二分。諸國印方二寸。

右見公式令。

家印 方一寸五分。貞觀格雜。

御印 方一寸。

馬牛印 方二寸廣一寸五分。以下
弘仁格兵部下

右ノ分ハ令並ニ拾芥抄ホニ回テ之ヲ記ス。明ノ宋景
濂。日東曲十管アリ。詳カニ。日本ノ古又ヲ詠ス。

其弟二首云。藤橘源平族四家。連城甲第
競豪華。治書省内多宮使。黃牒紛紜
簇五華。下分註云。藤橘源平國中四大姓。
治書省乃官署名。有尚書侍郎。郎中。主書
及鴻臚卿。丞之屬。其印文。曰。大政官印云。
○五代唐末帝焚死。收二秦。ヨリ傳來ル。至遂ニ
燒失セリ。是ニヨリテ周ノ廣順中ニ二寶ヲ作ラ
ル。一ツハ皇帝承天受命之寶ト云。一ツハ皇帝
神寶ト云。字ヲ刻ニ宰相馮道ソノ文ヲ書目ケ
リ。宋ノ太祖受禪ノ收ニモ。此ニ寶ヲ傳ラル。

○太宗以來世々ニ寶ヲ制セラル。コトアタナリ。又
代々ニ玉宝ヲ制シテ。尊號ヲ以テ文トセラル。コ
トアリ。其古又ニケルハ盡舉ニ暇アラス。

○宋ノ收ニ禁中ニ用ラレ、印ハ寶ノ外ニ三印アリ。
一ニハ天下合同ノ印ト云。中書省ノ奏覆收等ニ
是ヲ用ユ。二ツハ御前之印ト云。樞密院宣命
院等ニコレヲ用ユ。三ニハ書詔之印ト云。翰林院ノ
詔勅等ニ是ヲ用ユ。イツレモ金印ナリ。太宗ノ收ニ
改メテ寶トニテ鑄ナラサル。

○宋ノ收。皇天子ハ金宝ニ寸四方ニテ。アツキ五分。諸司

イツレモ銅ヲ用ユ。諸王中書門下ノ印ハ一方二寸壹分。樞密使尚書省ハ二寸。節度使ハ一寸九分。其餘ハ壹寸八分ナリ。又朱記アリテ外職軍校等ニ給フ。士庶並ニ寺觀ニハ亦私記アリテ。太宗ノ取ニ私ニ鑄ルヲ禁テ制セラレテ。一寸四カノ木印ヲ用ルヲ許サズ。

○明ノ取。天子ノ玉九ツナリ。是モ秦ノ六玉準ニ。其外ニ奉天之寶ト云テ。傳國玉ニ準ニ。任官詔ニ用ル。制詔之寶ト勅命ノ寶トニテ。アハセテ九寶ナリ。

圖	寶	九	明
勅命之寶	天子信寶	皇帝行寶	奉天之寶
	天子行寶	皇帝信寶	制詔之寶
			皇帝之寶
			皇帝行寶
			天子之寶
			天子行寶
			天子信寶
			勅命之寶

此唐宋之神玉藏鎮中國惟紀天地用之
 一品至九品詔命用之
 詔赦聖旨用之
 立封及賜勞用之
 詔親王大臣調兵用之
 祭祀神鬼用之
 封建外夷及賜勞用之
 詔外夷調之
 六品至九品用之

右ノ通大明宮制ニスル所カクコトニ。又大明會
典ノ内尚寶司ノ職ニ詳カニセリ。奉天之寶
ヲ皇帝奉天ノ寶ト云。ソノ餘ハ宝文上ノ通十
リ。コノ外ニ又廣運之寶御前之寶ナトサテ
アリテ。スヘテ御宝二十四顆アリ。几何トモ
三寸ハコトクアラハサス。

○明ノ取。臣下印章ノ制度。會典ニ詳カナリ。征
西鎮朔等ノ將軍。銀印虎鈕カ三寸三分。厚
九分。柳葉魚象。ソレヨリ以下ハ正一品ヨリ從九
品マテ銀印。ニ甚至ニ甚至ニ銅印等ノ差

各寸法アリ。ソノ下未入流ノ官ハ銅條記公差官
ハ銅關防各ソシ差アリ。又ニテハ之ヲ畧ス。
未入流トハ唐ニ流外官ト云コトク。輕キ官人又
一通ノ位階アリテ。朝官ノ下ニ列スルナリ。

△俸禄之古又

○中庸曰忠信直禄所以勸士也。士忠信ナルモ
ノハ直禄ヲ與ルヲ云。官アルモノハ禄ヲアタフルヲソノ
由来ヒサシ。周ヨリサキノノハ書傳ニ詳カナラス。周ノ
牧。天子ハ邦畿千里ノ内ヲ畿内トシ。諸侯ハ公侯
伯子男ガ五等ノ自アリ。天子諸侯在ニ各卿大夫
夫上士中士下士ノ五等アリ。ソノ大略孟子孟子ニアラハル。
故ニ云。六等ヲ通天下五等ヲ通一國ト云。

周室班爵祿圖

大國方百里
君十卿

大國卿
四太夫

上士

倍中士

君

卿

大夫

中士

倍中下士

次國方七十里

次國卿

倍上士

十里

三大夫

下士

与庶人在官者同祿

小國五十里

小國卿

君十卿

右子孟子ニノスル所カクシコトニコレハ庶人ノ官ニアルモ

ヨリツモリ出ニテ。卿大夫ノ祿ヲモ定ムルナリ。庶

人在官者トハ。周礼ニイワテ府史胥徒ナリ。

府ハ倉者アツカリ。史ハ物カキ。胥徒ハ下役人ナリ。祿足以代耕トハ。百姓ノ田地ヲ持テ耕作スルモノ身代ニ準ニテ。ソノ差ヲ立ツルナリ。百姓一人ノ手前ニ井田百畝ノ地ヲ受取ル。ソノ内ニヨキ身代ナルモノハ九人ヲクラス。貧者キモノハヤク五人ヲクラス。九人ハ人七人六人ノ五段アリ。下士ヲ是ヲ準ニシテ祿ヲトル。シカレハ五人フナヨリ。九人フナマテノ五等アリト見エタリ。ソノ内上等九人ヲ準トシテツモル時ハ。中士倍下士田二百畝ヲ受十八人ヲクラス。上士倍中士田四百畝ヲ受三十六人ヲクラス。大夫倍上士田八百畝ヲ

受七十二人ヲクラス。コレニテハ諸侯ノ国イソレモ同キコトナリ。コレ上御ニ至リテハ其寺ヲナシカラス。大國ノ御ハ大夫ノ禄ヲ四倍ニテ三千二百畝ヲ受。二百八十人ヲ食ス。次國ノ御ハ大夫ノ禄ヲ三倍ニテ二千四百畝ヲ受。二百十六人ヲ食ス。小國ノ御ハ大夫ノ禄ヲ二倍ニテ一千六百畝ヲ受。百四十人ヲ食ス。孟子集註ニスル所如キコレハ孟子ノ本文ニ因テ上農夫ヲリトニテ。御大夫マテヲ等并用ニテカクズリ。大抵周ノ世ニモ始終七百余年ノ間ソノ初ハ王ノ制ニ備リタレトモ。其後ニハ損益變

改モアルベシ。又ハ王法衰微ニテ。列國ノ諸侯兼并僭竊ニテ私ノ法制多カルヘシ。ソレユヘ周禮禮記左傳等ノ法。孟子ニ合サルヲ多ク。ソノ大槩ホテ料簡ニテ古制ヲ考フヘシ。拘泥スヘカラズ。

○周ノ牧。禄秩ノ制王朝并侯國ニ及ルモノイソレモ田禄アリ。是ヲ采地ト云。又ハ采邑トモ云。官ニ因テ地ヲ采ルノ義ナリ。今ノ所謂領地ナリ。又輕キ官人ハ倉米ヲトル。今ノイハ元扶持ナリ。田禄ハ子孫ニ傳リテ代々コレヲ領ス。戰國ノ時分マテモソノ通りナリ。故孟子曰世禄滕固行之矣。

ト云リ。世禄ト云是ナリ。又役義ハオニ因テ之ヲ
任スルニヨリテ。世禄而不世官ト云。齊桓公ノ盟
ニ士無世官ト云。秦漢ヨリ後世ニ至リテ。元明ノ
世ニテ士大夫ニ所領アルコトハ一切ナキヲナリ。ソレ
ニ中国ノ人ガサテく瑣細ノ古又下テ詩文ニ書
アラハセ也。采邑ヨリ一箇ノ物産ヲ得ト云フハ
古今ノ書一切見アタラス。

○又車ヲ以テ禄ヲ云フアリ。論語ニ千乘之國云
垂トハ物四ツノフ車一両ニ馬四匹ヲ駕スルニヨ
リテ。車ヲ一垂ト云。十垂ナレハ馬四十匹ナリ。

故ニ又千駟トモ云。論語曰。齊景公有馬千
駟ト是ナリ。孟子ノ取ニハ。萬乘之國千乘ノ國
ト云ハ。又ハ千乘之家百乘之家ト云。是ハソノカニ
諸侯マスキ兼并ニテ。大身ニナルユヘニ。大國ヲ萬
乘ノ國ト云。ソノ内ニ又千乘ノ大夫アリ。齊燕ノ戰ニ
以テカ乘之國代カ乘之國ト云ニ因テニルベシ。旧說
天子諸侯ヲ以テ言ハアヤレリ。又大夫モ車ヲ以
テ言フ。論語ニ陳文子有馬十乘。大夫ニ云馬
乘者。不察於雞豚ト是ナリ。ソノ大畧ヲ考
フニ。委ニキフハ知カタシ。

○又米穀ノ數ヲ以テ言フコトアリ。論語ニ與粟九百ト先儒曰九百斗ト又孟子二萬鍾ト云十萬ト云十萬ト云八十萬鍾ト八斗斛ノ積リト又別ニ三テ。四外ヲ豆トスルヨリ。積リ出三テ。六斛四斗ヲ鍾トス。左傳昭公三年齊ノ晏子曰。齊田四量豆區釜鍾四斛為豆各自其四以登於公釜及十則鍾ト云。ニカレハ豆八四斛ナリ。區八十六斛ナリ。釜八六斗四斛ナリ。鍾八六斛四斗ナリ。此ツモリナハ萬鍾ハ六萬四千斛ナリ。今ノ日本ノツモリニテイハハタトヘハ十分ノ一二ニテ六千斛余ノ知行ナリ。

○齊王ノ孟子ヘノアニライニ。甚夥キヤフニ疑人アリ。ニカレハ孟子ノ諸侯ヘ歴聘ノ様子後車數十乘。從者數百人トアリ。ニカレハ諸侯ノアニラヒモカクアルニキニハアラス。大抵中國古今ノ變ヲ考ルニ乱世ト云ナカラ。春秋戰國ノ取分ホト諸侯大夫ノ家富貴敏系昌ナルハ十三。漢ノ初ニモソノ遺風アリ。春申君食客三千人ト云モ。陪臣ノ家ニテハオビタニキフナリ。コレニテ察ニシルヘシ。ソノカミ厚祿ヲカ鍾ト云。甚カルキフニテアルニキナリ。ニカレハ春秋以來ノ古又三テ定

タル王制トハミヘカタシ。

○又戸口數ヲ以テ禄ヲ云フアリ。論語ニ管仲ノ事ヲ稱シテ曰。奪伯氏駢邑三百。大舍馮氏曰。伯氏食邑三百家也。又楚昭王書社士百里ヲ以テ孔子ヲ封セニトスト。古二十五家ヲ里トス。七百里書社ノ人ヲ以テ封トスリ。ニカレハ封戸ノ名春秋ノ取分ヨリコレアリト見ヘタリ。漢ノ時專千戸侯ト云テ。爵位ノ名トナル。後世唐宋已來ハ虛名ナリ。

○漢ノ取封戸ノツモリハ一家ヨリ一年中ニ錢二百文ヲ出シテ年貢トス。コレヲ千アハセタルホドノ土地ヲトルヲ千戸侯ト云。ニカレハ千戸侯一年ノ入二十万ナリ。凡テ千ト云百ト云イツレモ錢ヲ以テ云。二十萬ハ今ノ二百母貝ノ千ナリ。ニカル寸庶人百萬之家ト云ハ。錢千母貝文持タルモノナリ。當取ノ法ニワリクノ利ヲトルニ因テ千母貝持タルモノハ一年中ニ二百母貝ノ所得アリ。千戸侯ノ身代ト同キナリ。齊魯ニ千畝ノ桑麻ヲウユルモノ。渭川ニ千畝ノ竹園持タルモノ。一年所得二百母貝アリ。故ニ漢書ニアタタ此等ノ古又ヲ奉テ。其人与千

比二千石ト云ハ八百斛ヲ取。是ヨリ以下段々コノ
通ニテ。百石ト云ハ。月ニ十六斛ヲトルナリ。

○漢書百官公卿表師古註曰。漢制三公祿
万石其俸月各三百五十斛。穀其中二千石
者月各百八十斛ト云。コノ通十六萬石君ト云
モノハ一年ノ祿四千二百石ナリ。漢。收并今ノ月
本ノ十分ニ準スレハ。今見米四百石ニハ不_レ過。
ソノカニ俸祿ノウスキヲニルヘシ。其詳カナルヲハ
漢。昏ニ具サナリ。後漢ノ收ニ。大將軍三公ノ
俸月ニ三百五十斛。大数ヲ奉ト見エリ光武ノ建武ニ

年ニ前漢ノ制ニヨリテ増減セラル。凡俸半
錢半ハ穀ニテ給ハル。延平年中ニ制アリテ中
二千石月俸錢九千。米七十一斛ト定メ。已下其
通ニテ差左アリ。百石ハ錢八百米四斛八斗
ナリ。

○晋ノ制ハ品秩第一俸月々ニ五斛其外絹
ヲ春秋ニ三百疋綿二百斤ヲ給ス。末々ノコトハ
本志ニモ詳カナラス。宋齊ノ收モ定リタル法見
ラス。梁ノ時ニ九品ヲ定メ。一品ノ秩ヲ萬石トシ。第
二第三ヲ中二千石トスルコト見ヘタリ。南北朝下

くゞ奉ルニ暇アラズ。

○隋ノ取ニハ京官正一品ニ禄九百石ヲ給フ。又職分田アリテ一品ニ田五頃ヲ給フ。八品九品ニテモ。其通ニテ各差アリ。外官ハ戸ヲ計テ禄ヲ給フ。職分田ノ外又公廨田アリ。唐ノ法制モ是ニヨリテ損益アリ。

○唐ノ取給禄ノ制ヲ定メ正一品ヨリ已下從九品ニテ各米錢ヲ給フ。下差アリ。外官ハ各一等ヲ降ス。總テ内外文武官一品ヨリ以下。並ニ職田ヲ給フ。京官諸司及郡縣ニハ又公廨田ト云モノ

アリ。ゴノ外ニ又幹カ防閑庶僕等ノ名アリ。何モ公儀ヨリワタリ人ニテ品階ニヨリテ通典ニスル所之ヲアガ。

唐 正一品。米七百石 錢六千八百

朝 從二品。米六百石

百 正二品。米五百石 錢八千

官 從二品。米四百石十石

俸 正三品。米四百石 錢六千二百

給 從三品。米三百六十石

圖 正四品。米三百石 錢四千二百

從四品。米二百六十石

正五品。米四百石

從五品。米一百六十石

正六品。米一百石 錢二千四百

從六品。米九十石

正七品。米八十石 錢二千二百

從七品。米七十石

正八品。米六十七石 錢一千六百

從八品。米六十二石

正九品。米五十七石 錢一千二百

從九品。米五十二石

○宋咸平年中。知制誥楊億上疏言。唐制內外官俸錢支外有祿米職田。又給防閣廩僕親復帳內執衣白直門夫。各以官品差定其數。歲收其課資於家。及本司又有公廨田食本錢。以給公用。自唐末離亂。國用不充。百官俸錢並減。其半自餘。別給一切權罷官於半俸之中。已是除陌。又於予俸三分之內。其二分以他物給之。鬻於市。厘十裁。得其三。曾糊口之不及。豈代耕之足云。唐取俸祿

之制是ニテ大畧ヲニルベシ。

本朝之制 有祿有二位田有職田有封戸親

又帳内公廨号各有其差又有三年給。

○又一国ニ封セラルアリ。廢帝天平宝字四年

八月ニ先朝ノ贈正一位大政大臣不比等封又

淡海公トス。勅ニ云。勲績蓋於宇宙朝賞

未先人望宜依天公故又追以近江國十二

郡封為淡海公。餘官如故ト云。此ハ没後ノ

贈号ト見ユタリ。此後封号九人アリ下ニ之

ヲアガ。

本朝封國公九人

朝 淡海公 不比等 文忠公

封 越前公 基經 昭宣公

國 尾張公 實賴 清慎公

公 遠江公 兼通 忠義公

九 相摸公 為光 恒徳公

養濃公 良房 忠仁公

信濃公 忠平 貞信公

參河公 伊尹 謙徳公

駿河公 賴忠 兼義公

甲斐公 公季 仁義公

○又帳内海内人夏カアリ。祿令ニ載セサレトモイツレモ
公上ヨリノタタリ人ニテ。在職ノ中ハ給事スルナリ。
帳内トハヲホト子リト訓ス。親王ニ給ス。一品三百

六十人ヨリ以下。四品二百人ナリ。六位以下ノ子并庶人ヲ以テ之レトス。浪身人ハツカヒビト訓ス。大臣納言並三諸臣一位ヨリ從五位ニテ給ス。一位八百人二位八十人ヨリ以上。五位八十人。女ハ減半ナリ。ソノ大政大臣ハ三百人。左右大臣二百人。大納言ハ百人。致仕ノ人ハ減半ナリ。イツレモ内八位以上ノ人ノ子ハ取ラス。又古カトモモノハカルキモノナリ。太宰師二十人。諸國ノ守ニ大國ヨリ下國マテ八人ヨリ三人ニテ段クニ差アリ。ソノ外博士令史史生ニテ二五人ヨリ三人二人ニテ。又差アリ。イツ

レモ一年一替ニテ。上等戸内ノ下ヲ取テ之ヲ給ス。其詳カナルハ軍防令ニ在リ。具ニアラハサズ。

本朝封戸差等圖

一品	八百戸	二品	六百戸
三品	四百戸	四品	三百戸
無品	百五十戸		
正一位	二百戸	從一位	二百六十戸
正二位	二百戸	從二位	百七十戸
正三位	百三十戸	從三位	百戸
大政大臣	三千戸		
左右大臣	二千石		

内大臣 八百戸
 大納言 八百戸
 中納言 三百戸
 参議 六十戸

右食封ノ支拾芥抄ニ所載令ノ文ト不同。令
 二八一品、八百戸。大政大臣三千戸。左右大臣八二
 千戸。ソレヨリ以下イツレモ戸数多ク給ル。拾
 芥二八一品六六百戸。大政大臣千五百戸トアリ。
 テソク下ニ減七百戸トアリ。内大臣中納言参
 議ハ令ニセス。令官ノ官ナレハナリ。ソレヨリ以下

イツレモ減少ニ沿革アリトニハタリ。二様共六ニ
 上ニスル。

○凡位田六位階ニヨリテ之ヲ給フ。親王凡四品諸
 臣一位ヨリ五位ニテコレアリ。女ハ三分ノ一ヲ減セラ
 ル。親王ハ又一品田ト云。

本朝位田	
一品	八十町。
二品	六十町。
三品	五十町。
四品	三十町。
正一位	八十町。
從一位	七十四町。
正二位	六十町。
從二位	五十四町。
正三位	四十町。
從三位	三十四町。

等差圖

正四位	二十四町。	從四位	二十町。
正五位	十二町。	從五位	八町。
外從五位	六町。		

凡職田トハ官職ニ就テ之ヲ給フ。又ハ職分田トモ
么。大政大臣ヨリ納言ニテコレアリ。

職田圖

大政大臣	四十町。
左右大臣	三十町。
大納言	二十町。

右令并拾芥抄ニ載トヨク此ノトニ内書上モ二異
同十三。今ニ日凡在外諸司職分田ト云ク。ソノ下ニ
大宰師十町。大戴六町。小戴四町。大國守二
町六段。上國守大國介二町二段。中國守上國介
二町。下國守大上國椽一町六段。中國椽大上國
目一町二段。中下國目一町。又凡都司職分田大
領六町。少領四町。寺ノフアリ。ニカハ朝廷ノ諸
司百官ニモ各職田アルヲ推ニルベシ。令ニ載セサ
ルハ恐クハ史ノ闕文ナラニ。右封戸位田。職田トモ
二代キリニテ。ソノ身官位凡寸ニ之ヲ給フ。除名

并ニ身死スレハ不給。ソ内功アル人ハ子孫へ傳領ス之ヲ功田ト云。

○又功田ハ功ノ次第ニ因テソ田禄ヲ子孫へ傳給フアリ。令云大功世ニ不絶。上世傳ニ世中功傳ニ世ニ下功傳字。大功非謀叛以上以外非八厘之除名並ニ不取ト。コノ文自アキラカナリ。圖釋ニ及バス。

○此外又年官年爵ヲ給フトアリ。コレヲ年給ト云。職原鈔ニ云。見任公卿納言以上有封戸職田又毎年除目有年給。大臣隔年任

諸国掾一人納言ニ一年一度。任掾一人參議者不任掾但献五節之翌年給之。其外皆給諸国目一人史生一人是分其俸之儀也。此外内給諸院宮ノ制ツヒラカニ。拾芥鈔ニアリ。

○本朝禄秩ノ法通ニテ之ヲ考ルニ。禄封戸位田職田年給ノ五品ナリ。禄ハ絹布之類ヲ給ス。封戸ハ石ヲ給ス。位田職田ハ土地ヲ給ヒ。町段ヲ以テ計ル。年給ハ官爵ヲ任スル給フニカルニ。令ニハ年給ニ事見ユス。拾芥ニハ。禄ノコトヲノセズ。是

モ古今ノ間。変易トス。タリ。大抵。本朝古
今ノ変ヲ考ルニ。上古神明ノ世。無為ノ道ヲ以
テ萬民ニ臨玉ヒ。ソレヨリ後。段々人文ヒラケ。明
カニ礼樂オコリ行ル。コレヲ大成ニテ律令格式
ヲ撰ミタマフ。ソレ沿革損益ノワケ具ニ六国史ニ
アラハル。ソレヨリ後。或ハ改リ或ハ廢シテ以テ。後
世ニ及ス。イツレモ。本国先王ノ世ニ。唐朝ノ礼ヲ
斟酌ニテ。古今ノ変ヲ考ヘ。水土ノ宜ニ因テ。損
益取捨ニ玉フナリ。國子ノ士ハ。中夏ノ礼俗ハ本
朝ニ不可用ト思ヘリ。又ハ本朝ノ古制ハ。通

ノタテ物ニテ。富取。古又實ニ施ニ行ル。トハ非スト
セサルユヘナリ。本朝ノ礼モ千數百年ノ間。ク
ナレハ。ソノ間ノ變易一端ニハ言ツクニカタニ。祿秩
ノ制ノミナラス。禮樂兵刑田賦。身章ノ制イ
ツレモ同キナリ。

○本朝給祿ノ制。祿令ニ詳カナリ。一年中ヲニツニ
分テ。春夏ノ二季ハ二月上旬ニワタス。秋冬ノ二季
ハ八月上旬ニワタス。春夏ノ祿トハ。前年八月ヨ
リ正月ニテノ内。上月百二十日以上ニ及フモノヲ
今年ノ二月ニワタス。秋冬モ之ニ準ス。二月ヨリ

七月ニテ禄ヲ同年八月ニワタスナルヘニ。上月
トハ番ヲツト九月ノナリ。禄ハ絶布被^ツ金ノ四
種ナリタトハ正從一位ハ絶三十疋綿二千疋
布百端被^ツ金百四十口大小初位ニテ段々差
アリ。又糸一物ヲ以テ綿一屯ニ代フ。鐵ニ延ヲ
シ以テ被^ツ金五口ニ代ルナリ。イツレモ夏ニテキ
ナレハ一タコレヲ奉ゲズ。

○令云。凡在京文武職事。及太宰壹岐對馬。
皆依官位給禄ト云。百官ノ職事アルハ以
レモ禄ヲ給フナリ。禄上ノ四種ニテ米粟ヲ給

スルナリハナシ。詳ナル者又ハ令ヲ考フベシ。

○凡給封戸トハ。古ハ民家ニ課戸不課戸ト云フ
アリテ。家内ニ課戸一人アル以上ヲ課戸トシテコレ
計テ給スルナリ。課トハ役ノ。年十六ニ上ル軍
役ニ出ルニヨリテ平生一人手前ヨリ役ニ庸布ヲ
出スコレヲ課戸ト云。ソノアル家ヲ課戸ト云。古ハ
一戸コトニ租庸調ノ三ツアリ。田租ハ二ツニワリテ一
分ハ公儀へ上ケ一分ハ封戸ノ主へ給セラル。封戸
ノ仕下モソノ主へ給フナリ。令ニ曰凡封戸皆以
課戸充調庸全給ス。其田租為二分。一分入

官一分給主ト是ナリ。

凡ソ封戸ハ親王。凡四品諸臣正一位ヨリ從三位職ニテハ大政大臣ヨリ。參議ニテイツシモ之アリ。内親王ハ減半ナリ。大上天皇ハ二千戸ト云リ。イツシモ令並ニ拾芥ニ詳ナリ。

○宋ノ取。文武ノ官人ノ俸甚斂。系璣ニニテ逐一アクルニオヨハス。文臣ノ俸開府儀同三司ニ料錢一百貫。特進ニ九十貫。在ニ春冬衣絹各二十五疋。小綾十疋。春ハ羅一疋。冬ハ綿五十。兩ト定メ其ヨリ以下段々ニ差アリテ。承務

郎ニ至リテハ。夕ノ料錢七貫。ハカリナリ。武官ノ俸ハ大尉ハ特進三司ニ同ニ。是モ段々次第アリテ。進義副尉ニ至リテハ料錢夕ハ三貫。ハカリナリ。ソノ餘職事官ニハ並ニ職錢ヲ支フ。又職料錢トモ云。学士ヨリ以下ハ人貼職錢ト云。ソノ他厨食錢。折食錢。茶湯錢。サテ一官クニニタカヒテノ名色アリ。折食錢ハ膳修ノ料ノ名ナリ。ソノ差同カラス。ゴトクク奉クルニイトアラス。コノ外ニ又祿粟階身元隨僕人之制アリテ。宰相ハ祿粟百石。隨身七十人。太尉ハ百石。

隨身五十人半寸段々三十アリ。隨身元隨寺
何レモワタリ人ナリ。コノ外又職田アリ。

○宋咸平間楊億上疏テ云。今之結髮登朝
陳方就列其俸也。不能致九人之飽。不及
周之上農其祿也。未嘗有百石之入。不及漢
之小吏。若乃左右僕射百僚之師長位莫崇
焉。月俸所入不及軍中千夫之師。甚可駭也。
豈稽古之意哉。ト。ソカニ祿秩ノウキナリ。是
ニテニルヘシ。

○遼ノ取。百官俸給ノコト通考詳カナラス。金ノ取

二八正一品三師二八錢粟各三百貫石麴米麥
各五十石。春衣四羅五十匹。秋衣綾五十匹。
春秋絹各一百匹。綿子兩。是ヨリ以下段々下
官ニテ各ソノ差アリ。ソノ支銀系多クハニルナズ。

○元ノ取。至元中内外官ノ俸數大師府ノ大師
大傅大保八俸一百四十貫。米十五石。中書省
ノ右丞相左丞相八俸百四十貫。米十五石。
六部ノ尚書八俸百四十貫。米八石。叅知政
事八俸九十五貫。三錢二分。三牧厘。米九石五
斗。ソノ外庶官各ソノ差アリ。大抵中國ノ俸祿

甚卑、薄ナリクキテ。元ノ取ハ甚カクキナリ。
 ○明ノ取。唐ノ禄ノ制。會典ハ二詳カナリ。聖祖藩ヲ封
 スル時。親王ニ五万石ヲアタエテ擬セラレ。既ニニテ官
 吏軍士ノ俸給多キニヨリテ。唐宋ノ制ヲ考ヘカ石
 ト定メラル。後ニ米鈔兼支テ是ヲアタフ。是ヲ本
 色ト云。

朝 明

親王	米一萬石。
郡王	米二萬石。
鎮國將軍	米一萬石。
輔國將軍	米八萬石。

宗 藩 禄 米 圖

奉國將軍	米六萬石。
鎮國中尉	米四萬石。
輔國中尉	米三萬石。
奉國中尉	米二萬石。
公主及駙馬	米二萬石。
郡主儀賓	米八萬石。
縣主儀賓	米六萬石。
郡君儀賓	米六萬石。
縣君儀賓	米三萬石。
卿君儀賓	米二萬石。

右明朝宗藩禄米ノ数カクコトニ。唐宗ノ取ニハ。食実封ト云コトアリ。或ハ祖調ヲアタヘ又ハ虚名ニテ実ナシ。明ハ其制ヲ改メテ食封ノ名ナク。タハ位ノ高下ニヨリテ禄米ヲアタヘラルナリ。續通考ニスルトコロ又會典ト同ニ。公主トハ皇女ナリ。駙馬ハソノ婿ナリ。郡主已下卿君ニテ宗室ノ母ナリ。儀賓ト云ハソノ婿ナリ。

○親王ノ外。スヘテ文武百官イツレモ常禄アリ。公侯駙馬伯等ノ爵アルモノ禄五千石ヨリ八百石ニテ差アリ。人々同カラス。新建ノ伯ハ禄米一

千石。誠意伯ハ禄米ハ七百石ノコトキ是ナリ。逐一ノ名品會典ニ詳カナリ。アクルニ暇アズ。ソノ禄ノ内ニ何モ本色折色ノ二品アリテ。本色ニハ米ヲワタニ。折色ニハ他ノ物ヲワタスコトナリ。タトヘハ新建ノ伯禄米七百石ノ内。本色ニ二百石。折色四百石トアタルカゴトニ。何レモソノ通りナリ。明朝ニモ国初ニハ官田ト云コトアヒトモ。ヤカテ官ニカヘシ。本色ヲ支ヘ永樂以後ニ米錢兼支ラルコトナリ。新建伯トハ王陽明ナリ。誠意伯トハ劉基ナリ。

○會典云。凡官員俸給有本色。有折色。本色三

日月米每月一石。日折絹米歲兩月。折銀米
 歲十月。折色二日本色鈔日絹布折鈔云云。

明	朝	百
從一品	正三品	正四品
正二品	從二品	從四品
從二品	正三品	正五品
月支七十四石。	月支三十五石。	月支二十四石。
歲該八百八十八石。	月支四十八石。	月支二十一石。
歲該七百三十一石。	月支二十六石。	月支一十六石。
歲該五百七十六石。	月支一十石。	
歲該四百二十石。		
歲該三百一十二石。		
歲該二百八十八石。		
歲該二百五十二石。		
歲該一百九十二石。		

官	俸	給	圖
從五品	正七品	正八品	從九品
正六品	從七品	從八品	正九品
從六品	正七品	正八品	從九品
月支二十四石。	月支七石五斗。	月支六石五斗。	月支五石。
歲該一百六十八石。	月支七石。	月支六石。	月支五石五斗。
歲該一百二十石。	月支六石。	月支五石五斗。	月支五石。
歲該九十六石。	月支五石五斗。	月支五石。	月支五石。
歲該九十石。	月支五石。	月支五石。	月支五石。
歲該八十四石。	月支五石。	月支五石。	月支五石。
歲該七十八石。	月支五石。	月支五石。	月支五石。
歲該七十二石。	月支五石。	月支五石。	月支五石。
歲該六十六石。	月支五石。	月支五石。	月支五石。
歲該六十石。	月支五石。	月支五石。	月支五石。

右ノ通一品ヨリ九品ニテ。歲俸ノ數カクコト久。

差アリ何モ折俸アリテ實ニ米穀ヲ取コトハ甚
少シトエハ正品ノ入歳俸合テ一千四百十四石十
リソノ内本色俸三百三十一石二斗折色俸七
百一十二石八斗ナリ。此内ニ又差別アリテ本色
俸内ニ支米十二石ヲ除ク外。折銀俸二百六
十六石折絹俸五十三石三斗。コノ二
色ヲ合テ該銀二百四兩八錢二分ナリ。コレヲ本
色俸トス。折色俸ノ内ニ折布俸三百五十六石
四斗ハ該銀一十兩六錢九分二厘ナリ。折銀錢
三百五十六石四斗ハ該本色錢一百二十八貫

ナリ。是ヲ折色俸トス。二品以下九品ニテ段々ソノ
差等アリテ。本色折色ノウケハイツレモカクコトニ
實ニ米ヲワタスコトハ一品ヨリ九品ニテ様ニ二年ニ
十二石ヲワタス。所謂月米毎月一石ト云是ナリ。
餘ハ銀沙ヲワタス。又ハ綿布胡椒蘓木ヲモ祿
ニ支ルコトアリ。會典ハ戸部ノ内ニ詳カナリ。
明ノ取。文官ハ一品ヨリ九品ニテアリテソノ俸モ又
差アリ。武官ハ六品ニテニテ其以下ハコレナシ。會
典云。武官原無七八品。上官有從七品亦不
支俸ト是ナリ。

○五雜組云。今外官七品以上。月俸歲得百金。四品以上倍之。又玉瓊及溪雜記。國初定制。云云。其折色以鈔為則。每米一石折鈔十五貫。或二十貫。每布一疋折米二十石。京官折俸四五年不得支。外官通不得支。此貪婪之難禁也。此二說八朋之俸祿之制。大既未ニノフルナリ。

△符牌勘合ノ夏

○符節ノ。古ヘヨリコレアリ。周礼ニ掌手節ト云官アリ。節ヲアツカリテソレノ用ヲ弁ス。金玉或角ヲ以テコレヲ作リテ。左右ヲ分テニルニトス。子西子ニ所謂如谷符節ト是ナリ。戰國ノ取趙ノ如姬カ晋鄙カ兵符ヲ盜テ信陵君ニアタヘ。秦王子嬰皇帝ノ玺符節ヲ封ニテ。漢ノ高祖ニ降ルト云。皆其コトナリ。

○漢ノ文帝二年ニハシテ銅虎符竹使符ヲ作リテ。天下ノ郡守ニワカチアタヘテニルニトス。銅

虎符トハ銅ニテ虎ノ皮ヲ作リタル符ナリ。番ヨリ五番ニイタル。軍陳ノ時ニ禁中ヨリ使者ヲ某々ノ郡ヘ遣サレ。使者ソノ符ヲ持參シテ郡ニ至リテ。コレヲアハセ符合テコレヲ受取リ。処々ノ軍兵ヲイタスコトナリ。作使符ト云。符各取五本ヲ以テ符トス。是モ一番ヨリ五番ニ至リ。各符篆字ニテ文字ヲ刻付テニルニトス。ソノ長サ五寸。是ハ軍陳外ノ用古又ハ取分ニイタスコトナリ。イッレモニツニワリテ右ハ京師ニトメテ左ヲサキヘ遣ス。漢書應邵張安寺ノ注ニ詳カナリ。後漢武^{下上}光ノ取杜詩カ上疏ニ舊制發兵皆以虎符其餘調發皆作使而已ト。ソノ差別是ニテ明カナリ。

○ソノ取又傳ト云モノアリ。文帝ノ取ニコレヲヤメラル。是ハ關所ヲ通ル寸^{トキ}ノ切手ナリ。或ハ木ニテ作り。或ハ縑帛ニテ作り。唐ノ取ニコレヲ過所ト云。古ヘ縑ト云ハ漢書終軍カ傳ニ入關々吏。予ニ軍^ニ縑。張晏注云。縑符也。書帛裂而分之若券契矣ト。是モ帛ニ骨タル切手ナリ。關ヲ入時ニワタニテ出ル時ニ是ヲ還スト見ヘタリ。

○北齊ノ取。ニ又銅獸符。竹使符アリ。諸州ノ鎮兵ヲ發スルニハ。銅獸ヲ用ヒ。諸刺史ヲ拜代召スルニハ竹使ヲ用ユ。是又漢ノ制ニヨルナリ。銅獸符ハ即銅虎符ナリ。北齊書ハ唐ノ取ニ作タルニヨリテ。唐ノ諱ヲカヘテカク作りカエタルナリ。

○隋ノ煬帝。遼東ニ幸ニテ。京師並ニ東都ノ留守ニ玉麟符ヲ賜テ銅獸ニカユ。唐ノ高祖長安ニ入りテ隋ノ竹使符ヲ罷テ。銀兔符ヲワカチ。ソノ後又アラタテ銅魚符トス。

○唐ノ時魚符ノ制。サニクアリ。軍旅ヲオコシ守長ヲ易シ銅魚符ヲ用ユ。京ノ留守折衝府並ニ左右金吾等ノツシモコレヲ給ハル。宮殿門ニハ交魚符。巡魚符アリ。左箱右符ニハ開門符。開門符アリ。右ハ監門コレヲ掌ル。蕃國ニモ亦是ヲ給ス。ソノ國ノ朝貢使來ル時ニソノ月ノ符ヲ持參ス。是ヲ月魚ト云。モニ相違アル寸ハキニミアリ。又傳馬ノ切手ナリ。

○又皇太子監國ノ時ニハ。雙龍符ヲ給フ。左右各十アリ。南京北都ノ留守ニハ麟符ヲ給フ。

左二十石十九東方諸州ニハ青龍符ヲ給ヒ。南方ニハ玄武符。イッレモ左四右三。左右ノワケ何モ前ノトニ。行軍所ニモ亦是ヲタマハル。

○又隨身魚符ト云モノアリ。即魚袋ノイナリ。百官五品以上ノモノ是ヲ身ニオズ。文献通考ニ云。隨身魚符者。以明貴賤應ニ召命。左ニ右一。左者進内。右者隨身ト。先ツ自王太子ヲ召サルニハ。玉契ト云モノアリテ。勘合ニテ命ニ應ス。ソレヨリ以下親王百官ハイッレモ魚符ニテシテ差クアリ。親王ハ金ニテ作り。百官ハ銅ニテ

作り。ソレ上ニ官位姓名ヲ刻付。ソレ下ノ名ヲ魚袋ト云。ニ品以上ハコレヲ金ニテカサリ。五品以上ハ銀ニテコレヲカサル。何モ袋ノカサリナリ。所謂金魚袋銀魚袋ナリ。

○唐ノ取魚符ト云。魚ノ形ハ鯉ナリ。是ハ唐ノ同姓李氏タルニヨリテ。鯉ハ李ト同音ナルニヨリテ。是ヲカタドルナリ。武后ノ世ニ至リ。天授元年ニ改テ亀トス。神亀元年ニ旧制ニ復ス。是ハ武后ノ本姓武氏タルニヨリテ。武ハ北方ニ玄武ノ象ニテ。亀蛇ノ神ナルニヨリテ。ソレ縁ヲ以テ。亀ニ改タ

ルナリ。賀知章カ金龜換酒ト云ル即ソク夏ナリ。
○又魚袋ノ夏事物紀原ニ曰。實錄曰。三代以韋
為之。謂之韋袋。魏易之為龜。後轂子ニモ亦
曰。魚袋ハ古之韋袋。魏文帝易以龜袋ヲ取
其先知歸順之義。我唐改以魚袋。取其合與
符之義。下文獻通考ニモ是ヲ引ク。ニカレハ魚袋
ト云。ハ古ヘ筭子ソフ名ナリ。然モ通典ヲ按スルニ。太
宗ノ時。隨身魚ヲ給フト記ニテ。上元ノ制。注
文内ニ又筭袋手巾ト等ノ名アリ。ニカレハ唐ノ
魚袋ト云。モノハタハワリ符ニテ。筭袋ニアラス。紀

原ノ説ウタカフベシ。

○宋時。符節ノ制。唐ノコトク詳カナルヲキコエス。仁
宗康定ノ初。銅符ヲ制。製セラル。上ニ筭袋。又ニテ
其処。發兵符ト記ス。下ニ虎豹ヲカサリ。ニニテ
中ヨリコレヲ分ツ。右五符。京ニ下メ。左符ハ其処
々州軍ノ官人ニ遣スナリ。又銀牌アリ。是ハ唐ノ
制ナリ。ハ一寸五分ニ長サ五寸ニニテ。勅走馬
銀牌ト云。字ヲ隸書ニテシル。穴ヲ明ル革帶
ヲ付テ驛ヲ賜フモノ。遣ス。ソノ後ヤメラレテ。樞密
院ヨリ券ヲ賜ヒ。是ヲ頭子ト云。何モ漢ノ取

傳符ノ意ナリ。高宗ノ建炎三年ニ虎符ヲ
改鑄ラル。又金宗牌ヲヨミラヘ。赦書並ニ
軍機要功トニ是ヲ用ユ。月ニ行コト五百里
内待局ヨリ是ヲ遣テ。金ヲ伐テ朱仙鎮ニ至ル
ニ。十二ノ金牌ヲ賜フテ師ヲ班サシムト云。即コノ
時ノ制ナリ。

○宋ノ取魚袋ノ制。又唐ニヨレリ。太宗ノ雍熙
元年ニコレヲ近臣ニ賜フ。是ヨリ内外升朝ノ
文武官何レモコレヲオフルナリ。此系袍ヲ服スル
モノハ銀ニテカサル。其後トモニ御ニ入ル。然レ宗

ノ取ノ制タテ公服ノ帶ニ繫テ後ニタシ。貴賤
ヲ差別スルニテ又ニテ。唐ノ時符契ノコトクワ
リ符トスルコトナシ。畢竟虚文ニテ实用ニア
ラス。明ニ至リテコレヲシク入御ト云フハ。御ハ官
御トツキテ前官ト當官ト相フクミタル義ニ
テ。官位ヲ書並ニツラヌルコトナリ。日本ニテ位署
書ト云。即コノ又ナリ。又署御トモ云。ニカルニ入
御ト云コトハ定リタル官職ノ外。新ニ置ル職名
或ハ元ニ賜ル品ナトシク又アリト云トモ。未位署
ニ書加ヘサル是ヲ未入御ト云。久シク成テハ位署

内二書入ル是ヲ入御ト云ナリ。

○僧尼度牒ノ事

○佛法ノ中国ニ入ルヲハ。後漢ノ明帝永平八年
ニアリ。天竺ヨリ摩騰、蘭竺法護ト云モノヲ使ト
シテ。佛象經ヲ已ヲワタス。ソノ後。後漢書ニ詳
カナリ。ソノ後。俗人僧ニナルニハカキラス。公羊戒ヨリ
キツ手ヲワタシ。ニタリニ僧ニナルコトヲユルサス。是ヲ
度牒ト云。事物紀原ニ。唐ノ會要ヲ引テ
云。天寶六年五月制アリテ。僧尼令祠部
給牒。則僧尼之給牒。自唐明皇始也。又
僧史畧ヲ引テ云。度牒自南北朝有之。見ル

高僧傳一名籍限局必有憑由憑由ハ即今
祠部牒也ト云リ。ニカレハ。度牒ノコトハ南北ノ此ヨ
リハニマリテ。ソノ法唐ノ玄宗ノ時代ニサタマレリ。祠
部ハ礼部ノ下ニ属シテ。唐ノ武后ノ取分ヨリ僧尼
ヲ支配スルヲ掌ル。故ニソノ官ヨリ牒ヲ給スコ
レ因テ祠部牒ト云。度牒ト云ハ僧家ニ入テ僧
ニスルコト度不ト云。其法齊度化度ノ義ヨリイ
ヅ。ユヘニ僧ニ許ス證文ヲ度牒ト云。又度僧牒
トモ。剃度牒也。戒牒トモ云ナリ。
○肅宗ノ時。ニカエ名度牒ハニマリテ。後世マテ

是ヲ用ユ。其取分公用不足ニヨリテ。諸國ニテ
誰ニテモ錢ヲ出ニテ公義ヨリ度牒ヲ甲受
僧ニテリタキモノ是ヲアタフルナリ。ニカルニヨリテ
其牒ニ僧ノ名ヲシルサス。ソノ許サル式ハカリヲ
書タル證文ヲコニラシ。置ク。是ヲ空名度牒
ト云。今テ判紙ト云ガゴトニ。後世ノ史書ニ彌南
部牒ト云此右又ナリ。

○凡中國ニテ僧ニ度牒ヲ給スルヲケハ。中國ニテ古
ヨリ。人別ニ夫錢ヲ出ス。漢ノ取ノ口筆并唐ノ時ノ
庸ト云是ナリ。僧タモノハコレヲユルス。是ニヨリテ

平民ノ課役ヲ逃ニ下オモフモノハ佛ヲ信スルニア
ラスミタリニ僧ニナルモノ多キニヨツテ上ヨリ吟味シ
テ。度牒ヲ給セラルハナリ。明ノ正徳中ニ日本ノ
堆雲了庵ト云禪僧入唐ノ使タリ。歸朝時
ニ王陽明先生送行ノ序アリ。度牒ヲ給ル
アリ。

本朝之制 度僧給牒。

○佛法本朝ニ来ルヲハ。欽明天皇十三年ノ冬。
百濟國ノ聖明王遣使。佛像經論ヲ獻ス。
是ヲ始トス。中国ニテハ梁元帝ノ承聖元年ニア

タル。三國遺史ヲ按スルニ百濟本記ヲ引テ云ソ
ノ第十五代枕流王ノ時。晋ヨリ胡僧ヲ迎テ宮
中ニ置テ礼敬ス。百濟ノ佛法是ヨリ始ルト云。
晋ノ孝武帝ノ天元九年ニアタル。高麗ハハ晋
ノ咸安二年ニ。秦ノ苻堅使ヲ遣シテ。佛像經
文ヲ送ル。高麗ヨリ又新羅ヘワタルト云。又
按スルニ。日本記推古天皇ノ時。百濟ノ僧勸
勒上表ニテ曰。大佛法自西國至。千漢經三
百歳乃傳之。至於百濟國而僅百年矣。ト云
ク。シテ年代太畧符合セリ。

○本朝古へ僧トナルニハ唐ノ法ノコトヲ公家ヨリ證
文ヲワタサル。度牒アリテ。平人ニタリニ僧トナルコ
トヲユルサズ。

元正天皇養良元四年。正月丁巳始授僧尼公
驗ト云リ。是度牒ノハニメナリ。コレヨリコカタ。世々
ニシテ法行ヒテ。三四百年前ニテモ是アリト見ユ
タリ。イソケ比ヨリ。絶スト云フ。詳カナラス。

○令ニハコレヲ告牒ト云。僧尼令ニ云。凡僧尼者犯
准格律令徒一年以上者。還俗許以告牒當
徒一年ト。義解ニ云。告牒。僧尼得度公驗

也ト是ナリ。

右令ノケハ。僧尼罪ヲ犯ストキ。死罪ハ各別
ノ重徒罪ハ度牒アルヲ以テ宥免セラル。タト
ヘハ徒四年罪スヘキモノハ。度牒ヲ一年分アテ
ノコリ三年ハ法ノコトクニ公役ニ使フコトナリ。故ニ
以告牒。當徒一年ト云リ。

又私度並ニ冒名相代ト云コトアリ。度牒ナニテ自
僧トナルトキハ。イソケモ是ヲ罪ス。是又令ニ見ル。

度牒式

治部尚書。

城州路東山東福禪寺童行士思本貫係
本州乞國縣人事俗姓秦見年十四歲投
礼當寺住持士雲長老為本師賜知紙度
牒剃髮受具者。

右被太政官符俾左大臣宣奉

勅忤度者姓秦宣治部省與剃度牒至准
勅故牒。

正和戴年四月八月左大史小槻宿弥清時給
叅議郎兼治部郎從四位下行神朝臣康光
典主宰事官

鴻臚 丞 從位下行藤朝臣定行

鴻臚 少 卿 闕

典客郎中 署令 從位上平朝臣高廣

治部主事 闕

治部郎中 正位上行江朝臣公經

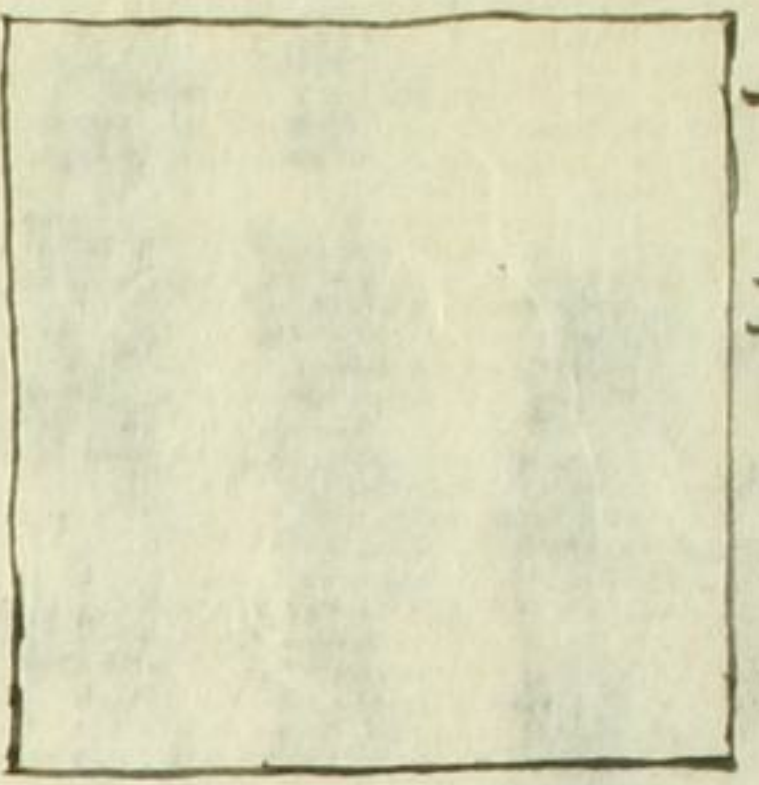
治部侍郎 正位行源朝臣光房

右料紙黃色ノ唐紙五枚、匣堅一尺五寸
三分。横二尺二寸二分、印三所、共同書面文
字大分板刻十リ、小分位階花押共墨
書十リ、又正和二四八ノ五字墨書十リ。年

月日在大史中。

又度牒式

治部尚書



駿州有渡都久能寺汝孫圖尔

俗姓氏平

見年十八

投於當寺住持竟辦

札為本師

賜度僧牒

剃髮受其者。

右被大政官符称右大臣宣奉

勅件度者姓平宜仰治部省與剃

髮牒至准勅故牒

美久元年乙卯十月廿月左大史小槻宿孫

国宗給

参議即兼治部即藤原信行

典主宰事

鴻臚丞 正六位上行平貞弘

典客 即中書省令正五位橘成恒

治部 主事正六位欠

治部

郎中正六位上行源盛慶

治部

侍郎從五位紀賴成

右ノ度牒今ニコリテ本寺ニアリ前代ハ僧多ク
モノ何モ此ノ通ノ證文ヲワタサルハナリ。何モ位
罽有書ニ唐名ヲ用ユルハ。唐ノ式ニ擬セラレ
ト見ユタリ。

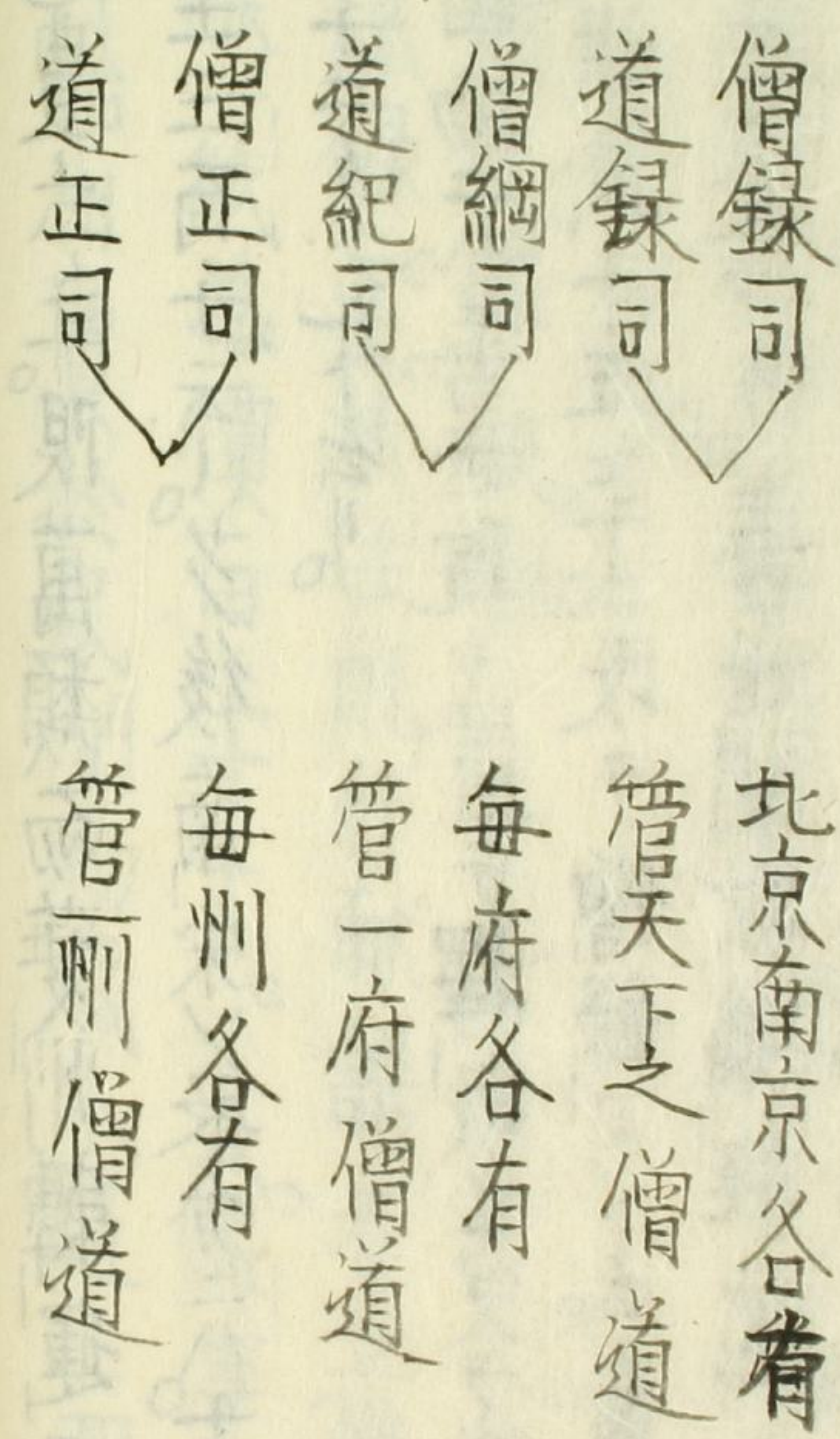
○宋朝度牒ノ法。唐トコトナルコトヲキカズ。燕翼
貽謀錄ニ云。新法既行。獻議者立價出賣
每牒一紙為價百二十千ト。又云。熙寧元年
七月始出賣。於民間初歲不過三四千人。

至元豐六年。限萬類而夔州轉運司增
價至三百千云。シテ後南宋ノ取分ニハ七百千
八百千ニイタルト云リ。

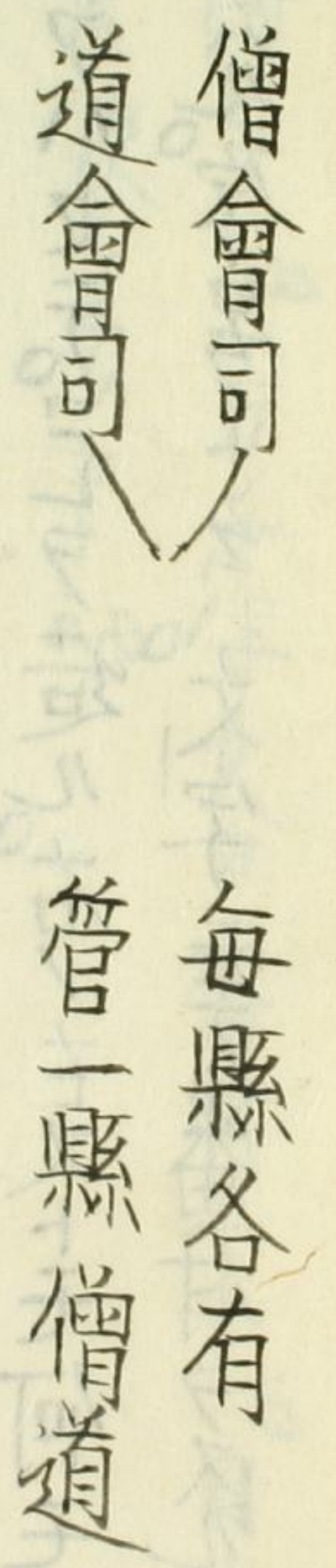
明國初ニハ善世院ヲ置テ釋教ノ長ヲ掌ル。ソ
ノ後。洪武十五年ニ改テ僧錄司ト云。南京北
京トモニ是アリ。善世闡教誨經堂義義寺
ノ官アリテ。天下ノ僧ヲ支配ス。南京ニハシ衙門
天界寺ニ在リ。北京ニハ大興隆寺ニ在リ。興隆
寺火災ノ後。大隆善寺ニ在リ。コノ外天下ノ府
州縣ニ僧ヲ司ル官アリ。府ニテハ僧綱司ト云。

州ニテハ僧正司伝縣ニテハ僧會司ト云又道教
 モソノ通ニテ京ニテハ道録司ト云府ニテハ道紀
 司ト云州ニテハ道正司ト云縣ニテハ道會司
 ト云ソケクノ官人アリ何モ僧道ヲ以テ是ニ任ス

明 朝 僧 道



司 圖



○凡僧ヲ度スルノ十年ニ度ナリソノ期ニ先達テ
 本寺ヨリソノ名ヲ具ニテ礼部ニ轉達シ礼部
 考試テ能經典ニ通スルモノニ度牒ヲアタフル
 ナリソノ額教府ハ四十人州ハ三十人縣ハ二十人
 トカキル永樂ノ取制アリテ軍民子弟僮奴ミ
 ツカラ髪髮ヲケツリテ僧ト九モハ父兄ヲ京ニオ
 クリ五臺山ニ登シ做エセシメオハリテ北京競

テ民トス。主僧ユルニ留ルモノモテタ民トス。
洪武二十五年ニ令アリテ。僧録司天下ノ寺院
僧人ノ帳ヲヨシラヘ。ソノ年甲姓名ノ字行並ニ僧
ト成年ノ月度牒ノ字號ヲニルニテ。天下ノ僧
寺ニワタニテ證據トス。是ヲ周知冊ト云。遊方行
脚ノ僧イタルモノアルハ。ソノ帳ト引アセ。モシ相違
アルハ公義ニ申上テ是ヲ罪ス。ソノ後久シク造
ラレス。詐偽スルモノアリ。正統五年ニ重テ先例
ヲニアハセテ。コレヲ造ル。右ノ右又トモ何モ會典ニ
アルハ。字號ト云ハ。文字ニテ番付ラスルヲ十リ。

中國ニテハ太方ノ字文ヲ番付ニスル。日本ニテハ
伊呂波ツケノコトシ。

制度通考卷之五畢

十八



早稲田大学図書館

011888001273